

前時の基本英文に1文加えよう

1 この活動のねらい

前時に学習した基本英文を活用させることでその定着を図るための活動です。授業の導入の場面で前時の学習の復習として位置付けると、生徒も学習したことを覚えていて、より効果的です。

2 活動例

基本英文「It + be 動詞 + ~ (+ for ~) + to 不定詞」を使った例で説明します。

新出文法に慣れる活動

教師の指示例

「It + be 動詞 + ~ (+ for ~) + to 不定詞を使ってたくさん英文を書こう。」

で書いた文を参考に、目的や相手に応じた文に書き換える活動

教師の指示例

「It + be 動詞 + ~ (+ for ~) + to 不定詞を使って、『東京がいいか地元がいいか』というテーマについて自分の考えを書こう。」

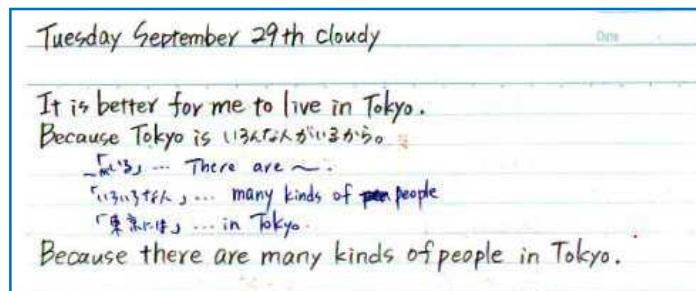
で書いた文に、接続詞を使って一文加える活動（ここがポイント）

教師の指示例

「昨日書いた英文に、接続詞 because を使って、もう一文加えて書こう。」

3 生徒作品例

この例は、1時目に It for to 不定詞の文構造を学習した後で、2時目に、「because に続けて理由を1文書いてみよう。」と指示しました。3時目では、because 以下の英文が書けるようになりました。



4 他の生徒作品例

「基本英文 + 接続詞」の組み合わせは、まとまりのある英文を書く力を付けるために効果的です。もう一つの例を紹介します。これは前時に接続詞 because を学習して、本時で look + 形容詞を学習したときのものです。

